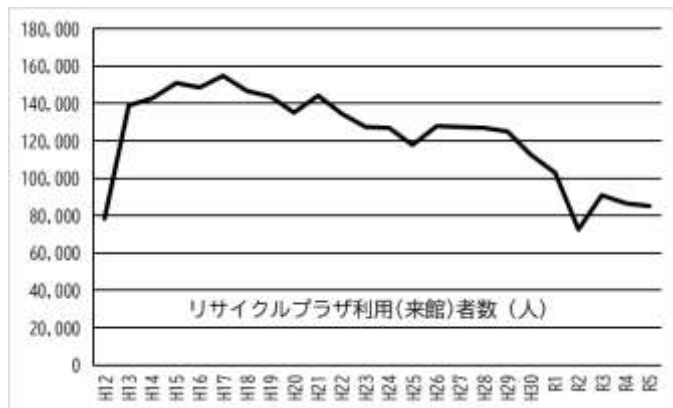


リサイクルプラザ各事業の現状と課題について

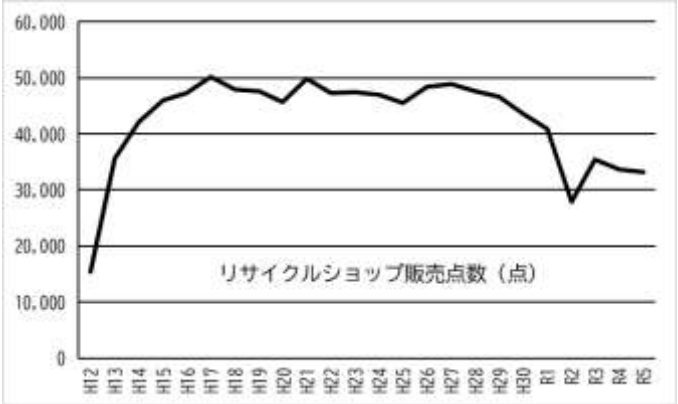
1 リサイクルプラザ来所者数・経費

○減少傾向にあり、特に H30 以降の減少が顕著。



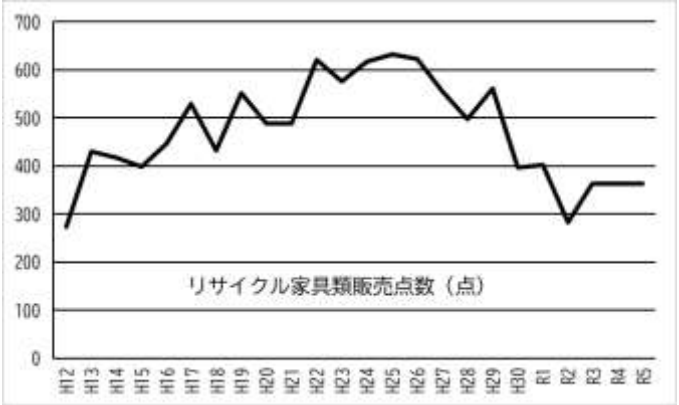
○令和4年度 施設全体の歳出 4,733万8,820円(市職員2人の人件費含む)
施設全体の歳入 187万円(自販機、太陽光発電を除く)

2 リサイクルショップ

事業概要	○市民が不用物を出品し、展示販売する。委託販売の形態。売上は全額出品者に支払う。
利用状況	<p>○販売点数は H27 頃から減少傾向が続く。</p> <p>○来所者数の減少と相関があり、来所者の多くはリサイクルショップが目的であると推察される。</p> 

<p>他市の同種事業例</p>	<p>【県内】川越市、川口市、所沢市、狭山市、入間市など ○県内例では、市民から無償譲渡→販売する例が多い。 【他県】目黒区、新宿区、中央区、浦安市など ○新宿区、中央区は本市同様の委託販売。他は無償譲渡→販売。 ★出品者に売上金を渡す運用をしている例は少ない。</p>
<p>社会情勢</p>	<p>○民間のリサイクルショップ実店舗は、市内に15か所ある。 ○ネットでの個人間取引が急速に伸長している。(全国で2兆円以上の市場規模とも言われる。) ○フリーマーケット等のイベントが多く開催されている。</p>
<p>事業経費</p>	<p>○令和4年度 経費(支出-手数料収入): 854万4,230円 1点あたり販売経費: 253円、1点あたり平均売価: 255円 ★経費は大半がショップ店員の人件費。</p>
<p>事業の課題</p>	<p>★ショップの機能は民間事業で代替されつつある。今後、市が直営で実施する意義は何か。 ★3R実践の啓発として、時代に合った手法と言えるか。過去、啓発は実物を使った事業がメインだったが、現在ではSNS等の方が効果的ではないか。(世代による違いもあるかも知れない。) ※3R=Reduce(減量化)、Reuse(再利用)、Recycle(再資源化)</p>
<p>考慮すべき要素</p>	<p>○現在利用している市民は、どんな点を魅力に感じているか。どんな点に不満を持っているか。(利用者アンケートにて把握する。) ○和光市では、同種事業は行っていない。</p>

3 リサイクル家具類販売

事業概要	○不要家具を自宅まで収集に行く。直接持込も可。家具を修理して展示販売する。家具は市に無償譲渡し、売上は全額市の歳入。																																																		
利用状況	<p>○販売点数は H27 頃から減少傾向。ただし直近は下げ止まりか。</p> <p>○来所者数が多い日は家具申込件数も多いことから、現物の展示が購入意欲をそそる要素と考えられる。</p>  <p style="text-align: center;">リサイクル家具類販売点数(点)</p> <table border="1" style="display: none;"> <caption>リサイクル家具類販売点数(点)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>販売点数(点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>H12</td><td>280</td></tr> <tr><td>H13</td><td>420</td></tr> <tr><td>H14</td><td>410</td></tr> <tr><td>H15</td><td>400</td></tr> <tr><td>H16</td><td>450</td></tr> <tr><td>H17</td><td>530</td></tr> <tr><td>H18</td><td>430</td></tr> <tr><td>H19</td><td>550</td></tr> <tr><td>H20</td><td>490</td></tr> <tr><td>H21</td><td>490</td></tr> <tr><td>H22</td><td>620</td></tr> <tr><td>H23</td><td>580</td></tr> <tr><td>H24</td><td>620</td></tr> <tr><td>H25</td><td>650</td></tr> <tr><td>H26</td><td>620</td></tr> <tr><td>H27</td><td>500</td></tr> <tr><td>H28</td><td>550</td></tr> <tr><td>H29</td><td>400</td></tr> <tr><td>H30</td><td>400</td></tr> <tr><td>R1</td><td>280</td></tr> <tr><td>R2</td><td>350</td></tr> <tr><td>R3</td><td>350</td></tr> <tr><td>R4</td><td>350</td></tr> <tr><td>R5</td><td>350</td></tr> </tbody> </table>	年度	販売点数(点)	H12	280	H13	420	H14	410	H15	400	H16	450	H17	530	H18	430	H19	550	H20	490	H21	490	H22	620	H23	580	H24	620	H25	650	H26	620	H27	500	H28	550	H29	400	H30	400	R1	280	R2	350	R3	350	R4	350	R5	350
年度	販売点数(点)																																																		
H12	280																																																		
H13	420																																																		
H14	410																																																		
H15	400																																																		
H16	450																																																		
H17	530																																																		
H18	430																																																		
H19	550																																																		
H20	490																																																		
H21	490																																																		
H22	620																																																		
H23	580																																																		
H24	620																																																		
H25	650																																																		
H26	620																																																		
H27	500																																																		
H28	550																																																		
H29	400																																																		
H30	400																																																		
R1	280																																																		
R2	350																																																		
R3	350																																																		
R4	350																																																		
R5	350																																																		
他市の同種事業例	<p>○越谷市、川口市、入間市、所沢市、川越市、志木地区衛生組合、蕨戸田衛生センター組合等、家具を修理販売している例は多く存在。</p> <p>○他市では、粗大ごみ(事実上、直接搬入ごみ)から程度の良い家具をピックアップする方式を採用しており、本市のように自宅まで収集に行く例はほとんどない。</p> <p>○修理はシルバー人材センターに依頼する例が最も多く、会計年度任用職員やボランティアスタッフなどの例もある。</p> <p>★他市でも販売点数は減少傾向。</p>																																																		
社会情勢	○市販の家具が安価で簡易な構造に移行し、使い捨て傾向が強まっている。																																																		
事業経費	<p>○令和4年度 経費(支出-手数料収入): 380万1,591円</p> <p>1点あたり販売経費: 10,502円、1点あたり平均売価: 2,518円</p> <p>★経費は大半がシルバー人材センター(修理等)の人件費。</p>																																																		
事業の課題	<p>★今後は、リユースに耐える構造の家具が減少するのではないか。</p> <p>★収集作業に多くの労力を要している。(ピックアップ方式への切替が可能か。)</p> <p>★修理・保管・展示には一定のスペースが必要。</p>																																																		

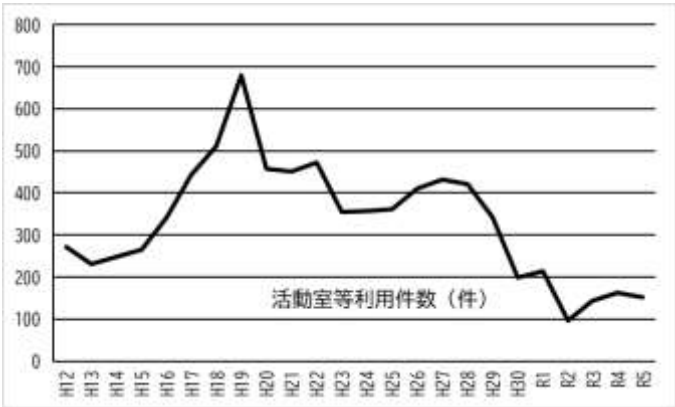
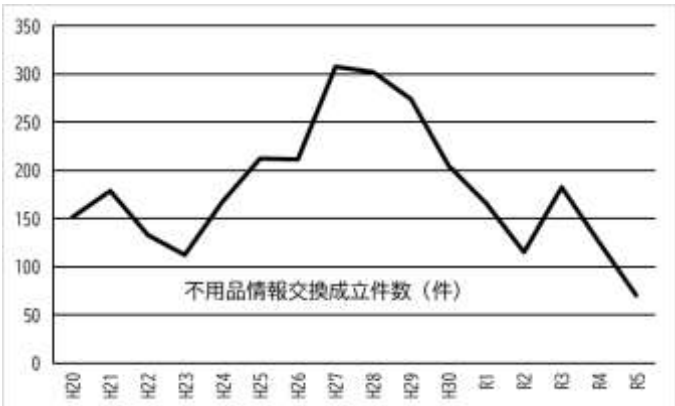
考慮すべき要素	<p>○シルバー人材センターの担当者間で修理の技能が蓄積、伝承されてきた。</p> <p>○和光市は、粗大ごみからピックアップし、修理せず無償譲渡の方式で同種事業（リサイクル展示場）を運営していたが、新施設建設工事に伴い昨年閉鎖。</p>
---------	---

4 啓発展示

事業概要	<p>○3Rに関する啓発展示を設置。</p> <p>○環境・廃棄物関連の図書・雑誌を設置し、閲覧・貸出を実施。</p>
他市の同種事業例	○クリーンセンターの施設見学コースの中に、3Rに関する啓発展示が含まれている例が多い。
社会情勢	○SDGs等への関心が高まっている。(情報へのニーズは高い。)
事業経費	○令和4年度 13万3,487円(図書、雑誌、新聞の購入)
事業の課題	★3Rに関する啓発展示のある施設が、クリーンセンターとリサイクルプラザの2か所に分かれている。(小学校4年生の見学はクリーンセンターに来所している。)
考慮すべき要素	○令和12年度に完成予定のごみ広域処理施設では、見学コースを設けるなど「環境教育や情報発信の拠点」を整備する計画。

5 イベント等

事業概要	<p>○リサイクルプラザ企画運営協議会により、3Rに関する講座やスクールグッズシェアリング等のイベントを開催。</p> <p>○環境関連団体に部屋を貸し出して活動の場を提供。</p> <p>○不用品情報交換コーナー、本のリサイクルコーナーを設置。</p> <p>○市内のこども食堂向けに、不用となった食品を提供。</p>
------	--

<p>利用状況</p>	<p>○部屋の利用件数は減少傾向にある。</p>  <p>活動室等利用件数 (件)</p> <p>○不用品情報交換コーナーの成立件数は減少傾向にある。</p>  <p>不用品情報交換成立件数 (件)</p>
<p>他市の同種事業例</p>	<p>○3Rに関する講座は、川越市、川口市、越谷市、所沢市、志木地区衛生組合など、多くの自治体で開催されている。(直営での開催が主体。)</p>
<p>社会情勢</p>	<p>○SDGs等への関心が高まっている。(情報へのニーズは高い。)</p> <p>○共働きの増加等により、市民活動に充てられる時間は減少傾向。(市民主体での多様な事業展開は難しくなりつつある。)</p>
<p>事業経費</p>	<p>○令和4年度 1,543万6,548円(管理事業と運営事業の合計、図書雑誌類の購入費用は除く。)</p> <p>★約2/3が建物維持管理費、約1/3が事務室の会計年度任用職員費用。</p>
<p>事業の課題</p>	<p>★施設全体の利用が減少傾向にあり、3Rの情報発信拠点としての効率が低下している。</p> <p>★市民協働で運営してきたが、以前のような多様な活動を継続することは困難になりつつある。</p>
<p>考慮すべき要素</p>	<p>○和光市では、3Rに特化した同種事業は行っていない。</p>

以上